



トピックス 米をつくる 地域をつくる EM技術で放射能の影響を限りなく少なくし 地域再生の原動力になっている人々

福島県沿岸部を走る国道6号線から一山超えた、南相馬市原町区、田村市都路町古道区で、EM技術で放射能の影響を限りなく少なくし、地域再生の原動力になっている5人の方々の取り組みが、EM環境マガジン『Web Ecopure(ウェブエコピュア)』で紹介されています。ぜひご覧ください。



有用微生物群であるEM技術での除染は、廃棄物がでないので仮置き場の必要がない。自然にも人間にも良く、海も川もきれいになる。もちろん、お米の味も品質もよくなる。福島県では、2016年度産米から食品衛生法の基準である1kg当たり100Bq(ベクレル)を超える放射性セシウムは検出されていないが、今回取材した方々がつくったEM米は、放射性セシウムが不検出(検出下限値1Bq/kg)、あるいは50分の1という数値であった。(同サイトより)

EM環境マガジンWebEcopure > <http://www.ecopure.info/index.html>

地域再生の原動力の5人

1. 『循環農業再開 自分でつくった米は最高だ』 南相馬市 瀧澤昇司さん
> http://www.ecopure.info/special/report/fukushima2017/fukushima2017_01.html
2. 『仲間の健康を願い EMを撒く』 南相馬市 羽根田 薫さん
> http://www.ecopure.info/special/report/fukushima2017/fukushima2017_02.html
3. 『自然米おにぎりで 地域を元気に』 南相馬市 武藤麻央さん
> http://www.ecopure.info/special/report/fukushima2017/fukushima2017_03.html
4. 『除染対象地域が生物多様性に富んだ理想郷に』 田村市 今泉 智さん・米倉金喜さん
> http://www.ecopure.info/special/report/fukushima2017/fukushima2017_04.html

【イベント】 善循環の輪 千葉県の集い in 成田開催のお知らせ

日時:2016年4月15日(土)12:30~16:40(12:00開場)

会場:成田国際文化会館・大ホール 千葉県成田市土屋303

主催:NPO法人 地球環境共生ネットワーク/共催:NPO法人 EM成田緑の会

後援:成田市、成田市教育委員会

お問い合わせ NPO法人 EM成田緑の会 電話 090-5212-3902